

所在地：埼玉県さいたま市
カラーグラビア ● 頁参照



正門前。大屋根・大階段

話題の施設

地域とともに歩みだす中学校

さいたま市立美園南中学校

株式会社 松下設計 森安研二・田口博紀

はじめに

敷地周辺には、畑や斜面林などの自然が残り、一般住宅・複合型広域商業施設・小学校・その他街区公園等の整備がされており、中学校における環境教育・地域活動との連携、緑豊かな環境との一体化を図ることを目指した。

全体配置計画

敷地形状及び敷地の周辺状況・道路状況を踏まえ、建物機能の充実、安全・防犯対策、周辺との調和に配慮した。西側上空の送電線を避け、グラウンド面積の確保及び各種コートの有効な配置を図るため、校舎棟を北側、屋内運動場棟を東側とL字型に配置した。

動線計画

歩道を有し、周辺幹線道路からのアクセスが容易な北側道路から人(生徒・職員・来校者)と車両(自動車・自転車)のアプローチを確保する。人のアプローチ、駐輪場、駐車場、及びバックヤードの配置を明確に分け、それぞれのアプローチを確保することで歩車分離を実現した。出会いの広場を通り生徒は大階段を上り2階の昇降口へ、職員・来校者は1階玄関、一般

開放施設利用者は、屋内運動場棟玄関へとアプローチする。また、緊急時に救急車、消防車がグラウンドへ進入可能な車両動線を確保している。

ゾーニング・諸室配置

校舎棟と一般開放施設である体育館棟を2つの棟に分けて配置することで明快なセキュリティーゾーンを形成し、管理しやすい施設とした。普通教室を南側グラウンドへ向けて配置、東側に体育館棟を配置することで良好な学習空間をつくり出すと共に東側及び西側住宅地への視線を配慮した。出会いの広場に面して各施設のアプローチを集約させることで生徒・来校者・一般開放施設利用者の様子を把握しやすく、防犯、生徒指導が有効なものとする。さらに、普通教室、特別教室、管理諸室、体育施設はそれぞれ明快にゾーン分けを行った。管理諸室(職員室・校長室・事務室)はグラウンドを一望でき、出会いの広場にも目が届く位置とした。プールは日当たりがよく将来、敷地北側に高層建物が建設された場合の視線を考慮し、体育館棟の南側に配置した。

施設整備と設計コンセプト

設計にあたり、施設整備の基本的方針として中学校

施設整備指針(文部科学省)に基づき近年の学校建築の動向を踏まえ、次の5つを設計コンセプトに掲げている。

①高機能で教育活動の充実を図る学校

学習内容に適した機能的な空間と生徒の主体性と創造性、夢を育む空間づくりを考慮し、図書室とコンピューター室を連携させメディアセンターとして設置。特別教室の前に掲示物、作品展示などが行えるメディアスペース、1階には学習形態の幅を広げる専用のワークテラスを設けている。



図書室。右奥がコンピューター室と連続している



メディアスペース



美術室。左奥がワークテラス。美術室・技術室の内装はアトリエをイメージ

②豊かな環境、柔軟性のある学校

快適でゆとりある空間と様々な活動を可能とする柔軟な空間づくりを考慮し、出会いの広場を設置。コミュニケーションの場として位置づけると共に大屋根を架けることで様々な教育活動、多目的な利用を可能なものとしている。中廊下型校舎には、部分的にライトコートを設け、自然光による明るさ・通風による換気等快適な環境づくりを行っている。

SDGs(持続可能な開発目標)の観点からリニューアル対応、フレキシブル対応が可能な間仕切りを採用している。



出会いの広場 大階段上が昇降口



ライトコート。1階メディアスペースに自然光を供給するトップライトを設置。生徒たちの休憩にも利用できる

③安全・安心な学校

だれもが安心して利用できる学校づくりを考慮し、死角を極力抑えた配置とし管理がしやすい計画をしている。災害時の対策として給食室を体育館及び出会いの広場に近接させ炊き出しにも対応可能、プール水の災害時利用(消防水利・飲料水)が可能なものとしている。



普通教室・廊下。普通教室は多連引き戸 大開口を確保できる



屋上プール

④地域との交流を促し地域に開かれた学校

地域との連携を図りながら、だれもが気軽に集い、出会い、新たな交流・活動の場となる学校づくりを考慮し、生徒・職員、一般開放施設（屋内運動場棟：ア

リーナ、地域交流ラウンジ、PTA会議室）へのアプローチを集約している。



地域交流ラウンジ。PTA会議室と共に一般開放に対応する屋内運動場棟に整備

⑤人と環境にやさしい学校

地域のシンボルとなる学校として、だれもが快適に利用できる施設整備と周辺環境との調和、環境負荷低減に貢献する学校づくりを考慮し、外観は風格ある学び舎をつくるため仕上げ材の選択、色彩計画に配慮した。正門からのファサードは大屋根・大階段が地域の新しい顔として表情をつくり出し、生徒の動き・姿もデザインとして組み込まれている。

内装は木質化を図り、屋上緑化・壁面緑化、水平ルーバーによる日射調整など環境負荷の少ない建物とし、エコスクール整備の促進：省エネ設備機器（LED照明、太陽光発電：蓄電池・EV車充電）、雨水の再利用（トイレ排水等）も行っている。

設置者より

さいたま市教育委員会
管理部学校施設課

美園南中学校は、浦和美園駅周辺の土地区画整理によって生徒数の増加が見込まれるため、美園中学校から分離し、平成31年4月に開校しました。浦和美園駅周辺は市の副都心として平成18年に街びらきした「みそのウイングシ

ティ」として整備しており、新校はその核の1つとなる施設です。

校舎内では、床、壁、天井に埼玉県産の木材を多数使用しています。屋上や壁面を緑化している場所も多数あり、環境に優しい校舎を目指して建設しました。

また、災害時には防災の拠点になれるよう工夫をしています。防災倉庫を避難所となるアリーナの近くに配置し、太陽光発電設備の蓄電池から停電時でも使用可能な非常用コンセントを設置し、

プールの水を飲用にろ過できるようにする設備を設置するなどしています。

その他、「地域交流スペース」を設置して学校と近隣住民の交流の場とするなど、地域との連携も図っています。

新型コロナウイルス感染拡大により学校生活に様々な制約がある状況ですが、早期に収束して元通りの生活を新しい校舎で送れる日常が戻ってくることを願っています。



バルコニー。水平ルーバー



昇降口前。給食室屋上を壁面緑化

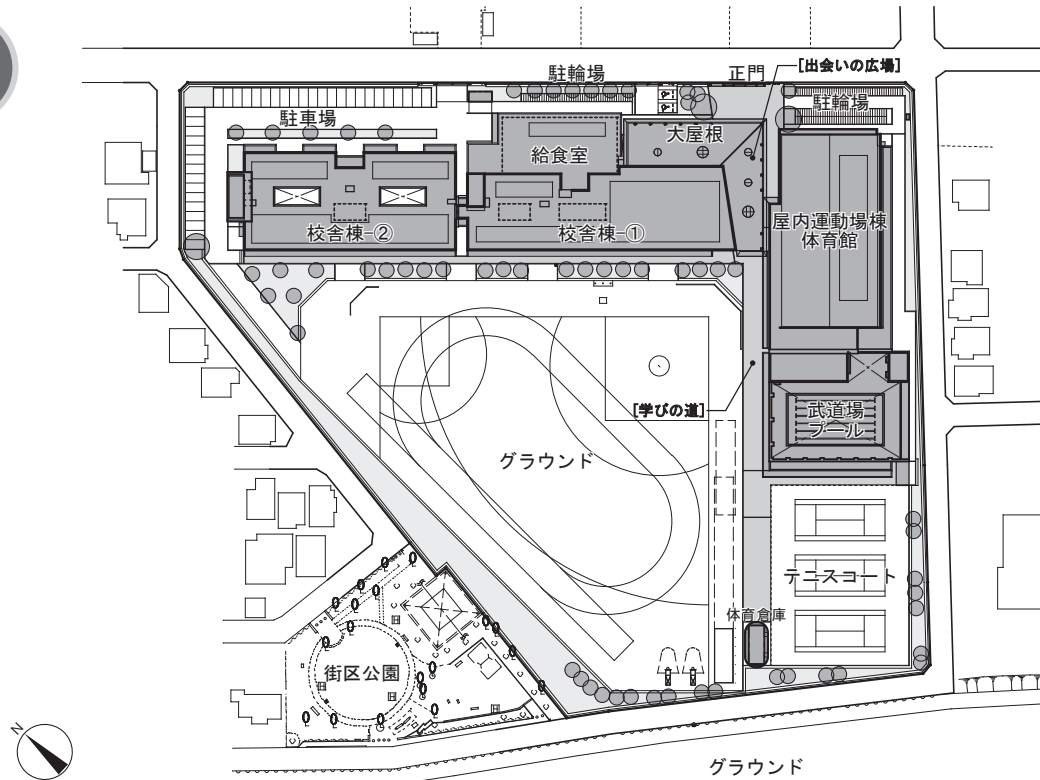
施設概要

名称:さいたま市立美園南中学校
 所在地:埼玉県さいたま市緑区美園6丁目15番
 用途地域:第一種中高層住居専用地域
 建ぺい率:29.47%
 容積率:54.60%
 敷地面積:26,299.30㎡
 延べ床面積:14,651.87㎡
 構造形式/階数:RC造一部S造、RC造一部
 SRC造・PC造/地上3階
 設計期間:2016年2月～2017年8月
 工事期間:2017年9月～2019年7月
 設計:(株)松下設計
 監理:さいたま市建設局建築部営繕課・設備課
 南部建設事務所 道路安全対策課
 (校庭整備工事)

施工
 建築:白石建設・横尾建設特定共同企業体(校舎棟)
 三ツ和・山一・ケイワールド日清特定共同企業体(屋内運動場棟)
 電気:埼玉・ハヤサカ特定共同企業体(校舎棟)
 (株)積田電業社(屋内運動場棟)
 空調・衛生給排水:アベック・茂田特定共同企業体(校舎棟)/(株)アベックエンジニアリング(屋内運動場棟)
 外構:(株)匠建設・(株)ハスヌマ電気
 校庭整備:荒木建設工業(株)
 主な外部仕上げ
 屋根:外断熱アスファルト防水、フッ素ガルバリウム鋼板
 外壁:コンクリート打放し浸透性撥水剤塗布、

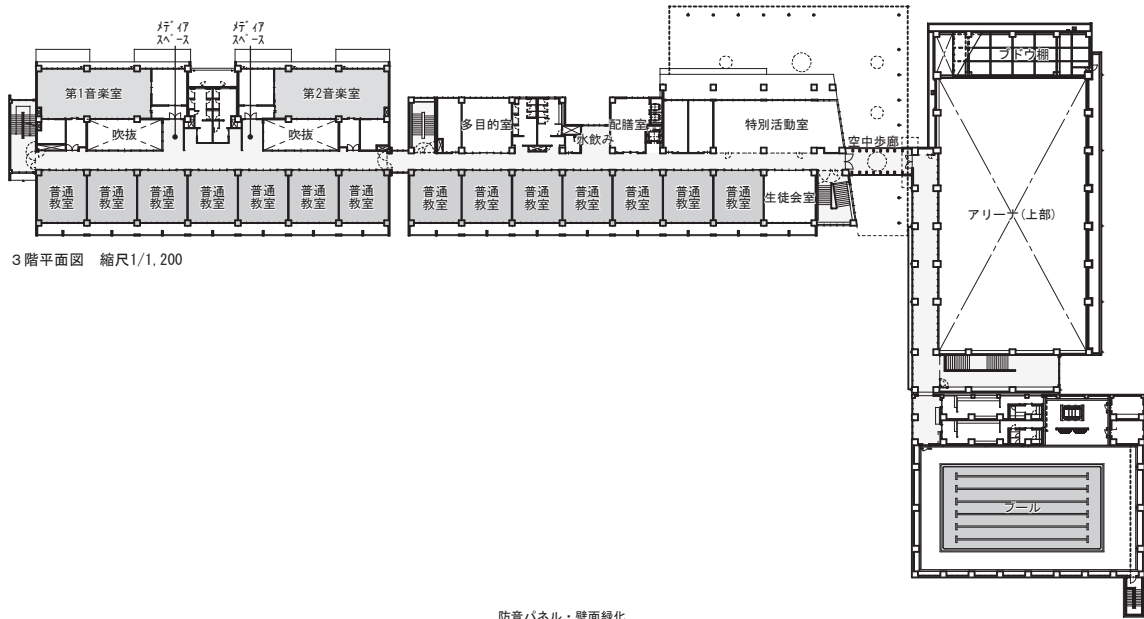
一部せつ器質タイル張り
 開口部:アルミサッシ、木アルミ複合サッシ
 主な内部仕上げ
 天井:岩綿吸音板、木製ルーバー
 壁:石膏ボードの上EP-G塗装、天然木化粧合板
 床:天然木複合フローリング
 電気設備:高圧受電方式
 空調設備:個別分散方式:ガスヒートポンプマルチエアコン(都市ガス)
 全熱交換器 衛生設備
 給水:ポンプ直結増圧方式・水道直結方式
 給湯:局所給湯方式
 排水:分流方式・雨水貯留槽設置
 その他(特殊設備・外構等):屋外プール+災害用ろ過装置、太陽光発電、中水利用

配置図

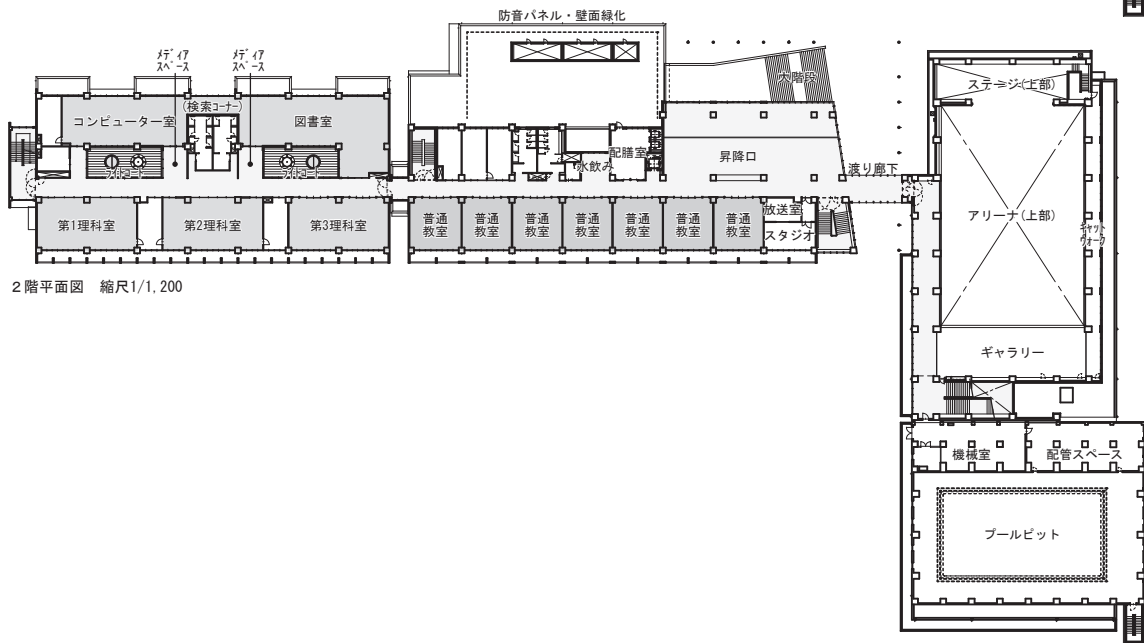


縮尺1/2,000

3F
平面図



2F
平面図



1F
平面図

